

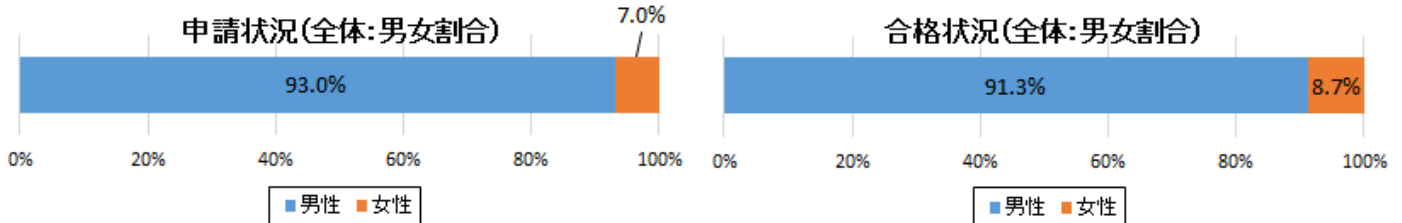
H27 年度 技能検定受検者データの解説

平成 27 年度「技能検定」の実施状況については、平成 28 年 8 月 19 日に厚生労働省より発表（以下、厚生労働省発表）されましたが、都道府県職業能力開発協会で実施された職種・等級別に更に詳細な集計(※)をまとめましたので、公表します。

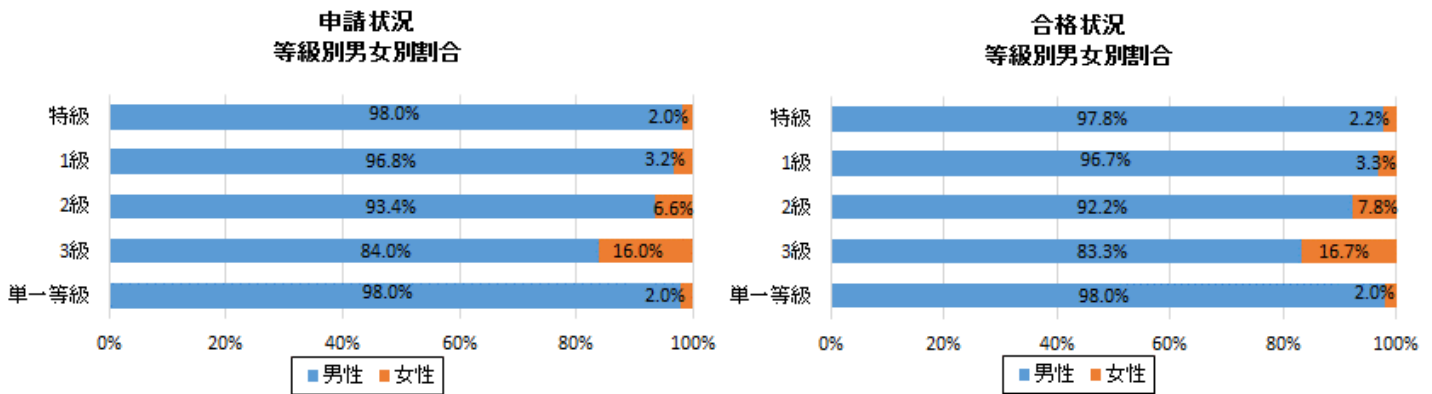
(※) 一部の都道府県の受検状況が欠落しておりますので、厚生労働省発表資料と数値が異なる箇所があります。この点ご注意ください。

1. 申請者及び合格者の男女別割合

- * 受検申請者数（全体）の性別割合を見ると、男性は 93.0%（昨年度 94.4%）、女性は 7.0%（昨年度 5.6%）となっている。
- * 合格者数（全体）の性別割合を見ると、男性は 91.3%（昨年度 93.1%）、女性は 8.7%（昨年度 6.9%）となっている。



- * 等級別に見ると、申請状況、合格状況ともに 3 級において女性割合が 16.0%以上と、他の等級に比べて高くなっている。
- * 等級を通してフラワー装飾、商品装飾展示、和裁において女性の申請者が多い。



各等級における男女別の実施状況は、以下のとおり。

(1) 特級

《男性》

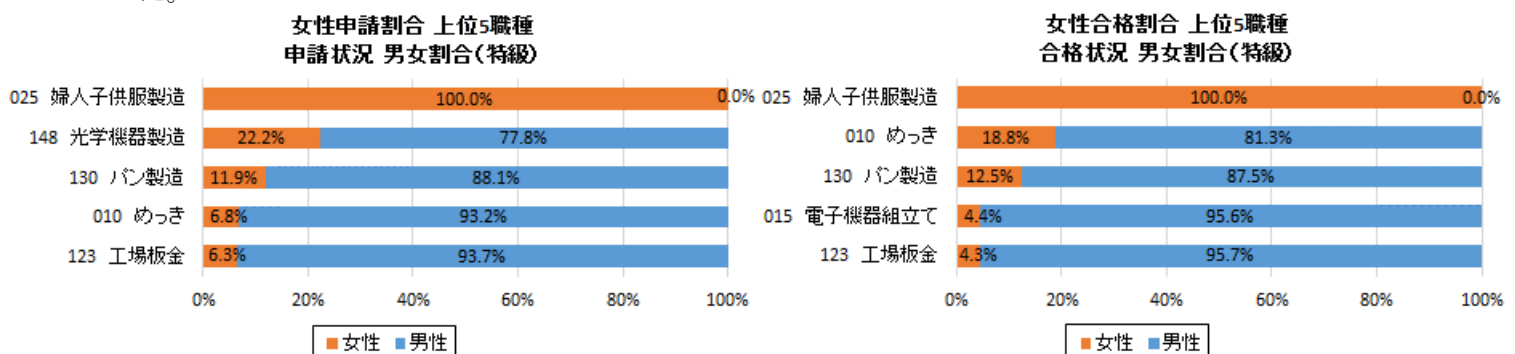
申請状況を見ると、仕上げ、プラスチック成形、建設機械整備他、11 職種では、申請者は男性のみであった。

合格状況を見ると、仕上げ、プラスチック成形、建設機械整備他、17 職種が男性のみの合格であった。

《女性》

申請状況を見ると、婦人子供服製造の申請割合が最も高く、続いて光学機器製造、パン製造の申請割合が高かった。

合格状況を見ると、婦人子供服製造の合格割合が最も高く、続いてめっき、パン製造の合格割合が高かった。



(2) 1級

《男性》

申請状況を見ると、建設機械整備、鉄工、コンクリート圧送施工他、20職種では、申請者は男性のみであった。

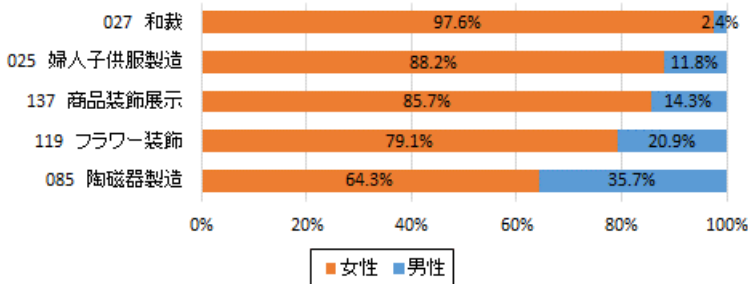
合格状況を見ると、建設機械整備、建築板金、鉄工他、26職種が男性のみの合格であった。

《女性》

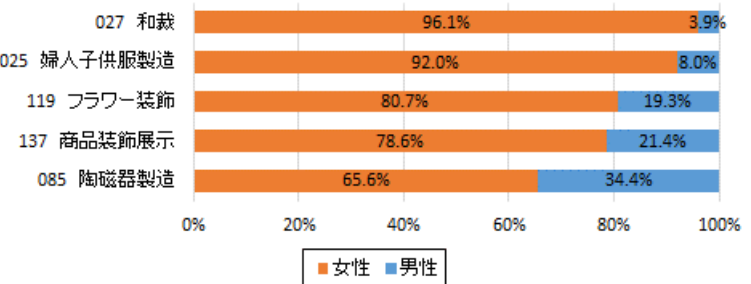
申請状況を見ると、和裁の申請割合が最も高く、続いて婦人子供服製造、フラワー装飾の申請割合が高かった。

合格状況を見ると、和裁の合格割合が最も高く、続いて婦人子供服製造、商品装飾展示の合格割合が高かった。

女性合格割合 上位5職種
合格状況 男女割合(1級)



女性申請割合 上位5職種
申請状況 男女割合(1級)



(3) 2級

《男性》

申請状況を見ると、ガラス施工、産業車両整備、型枠施工他、13職種では、申請者は男性のみであった。

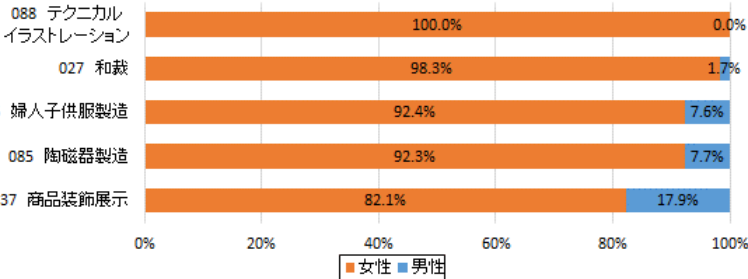
合格状況を見ると、コンクリート圧送施工、産業車両整備、かわらぶき他、16職種が男性のみの合格であった。

《女性》

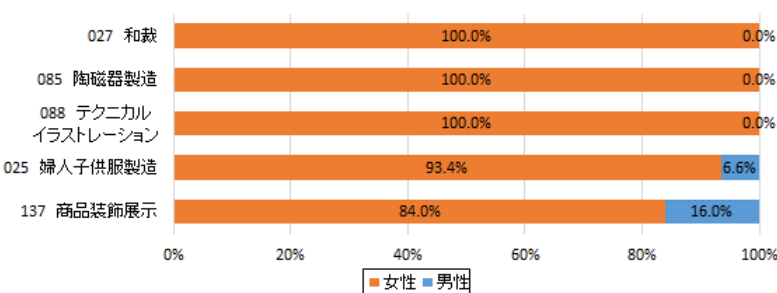
申請状況を見ると、テクニカルイラストレーションの申請割合が最も高く、続いて和裁、婦人子供服製造の申請割合が高かった。

合格状況を見ると、和裁の合格割合が最も高く、続いて陶磁器製造、テクニカルイラストレーションの合格割合が高かった。

女性申請割合 上位5職種
申請状況 男女割合(2級)



女性合格割合 上位5職種
合格状況 男女割合(2級)



(4) 3級

《男性》

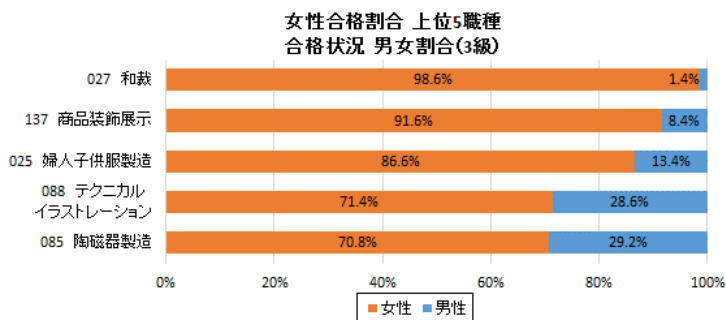
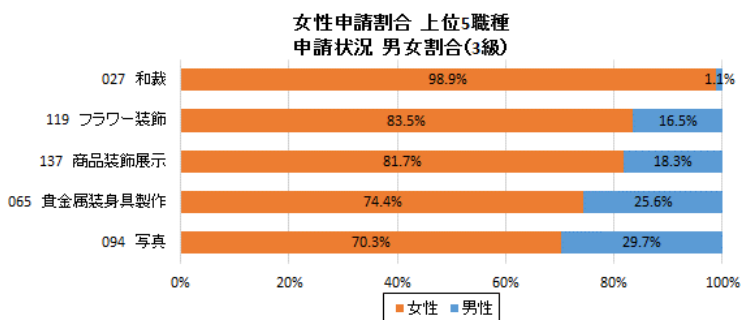
申請状況を見ると、塗装の申請割合が最も高く、続いて鋳造、工場板金の申請割合が高かった。

合格状況を見ると、塗装の合格割合が最も高く、続いて鋳造、工場板金の合格割合が高かった。

《女性》

申請状況を見ると、和裁の申請割合が最も高く、続いてフラワー装飾、商品装飾展示の申請割合が高かった。

合格状況を見ると、和裁の合格割合が最も高く、続いて商品装飾展示、婦人子供服製造の合格割合が高かった。



(5) 単一等級

《男性》

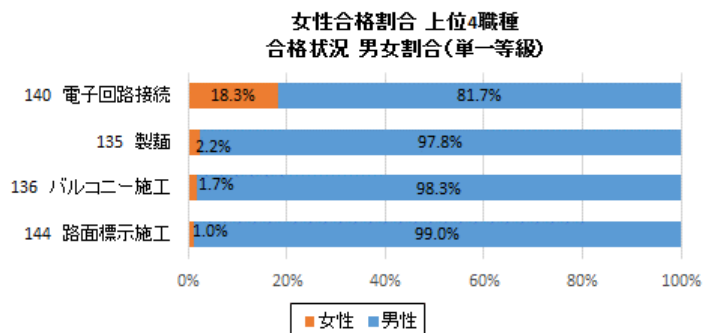
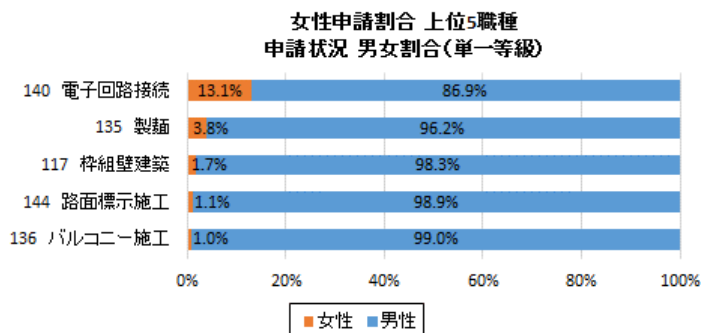
申請状況では、産業洗浄、塗料調色、エーエルシーパネル施工が男性のみの申請で、続いて樹脂接着注入施工の申請割合が高かった。

合格状況では、産業洗浄の合格割合が最も高く、続いて樹脂接着注入施工、塗料調色の合格割合が高かった。

《女性》

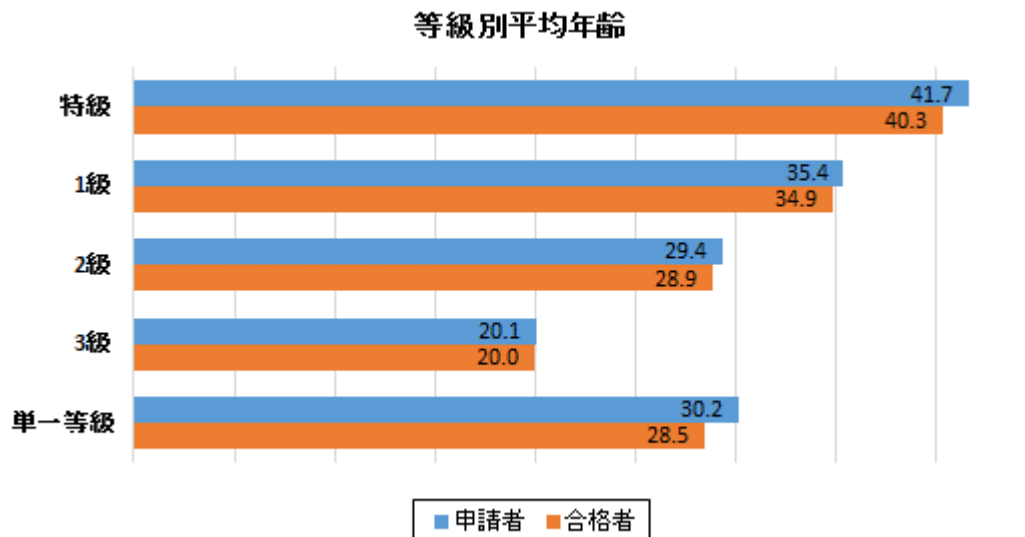
申請状況では、電子回路接続の申請割合が最も高く、続いて製麺、枠組壁建築射の申請割合が高かった。

合格状況では、電子回路接続の合格割合が最も高く、続いて製麺、バルコニー施工の合格割合が高かった。(女性合格者のいた職種は、下記の4職種のみ)



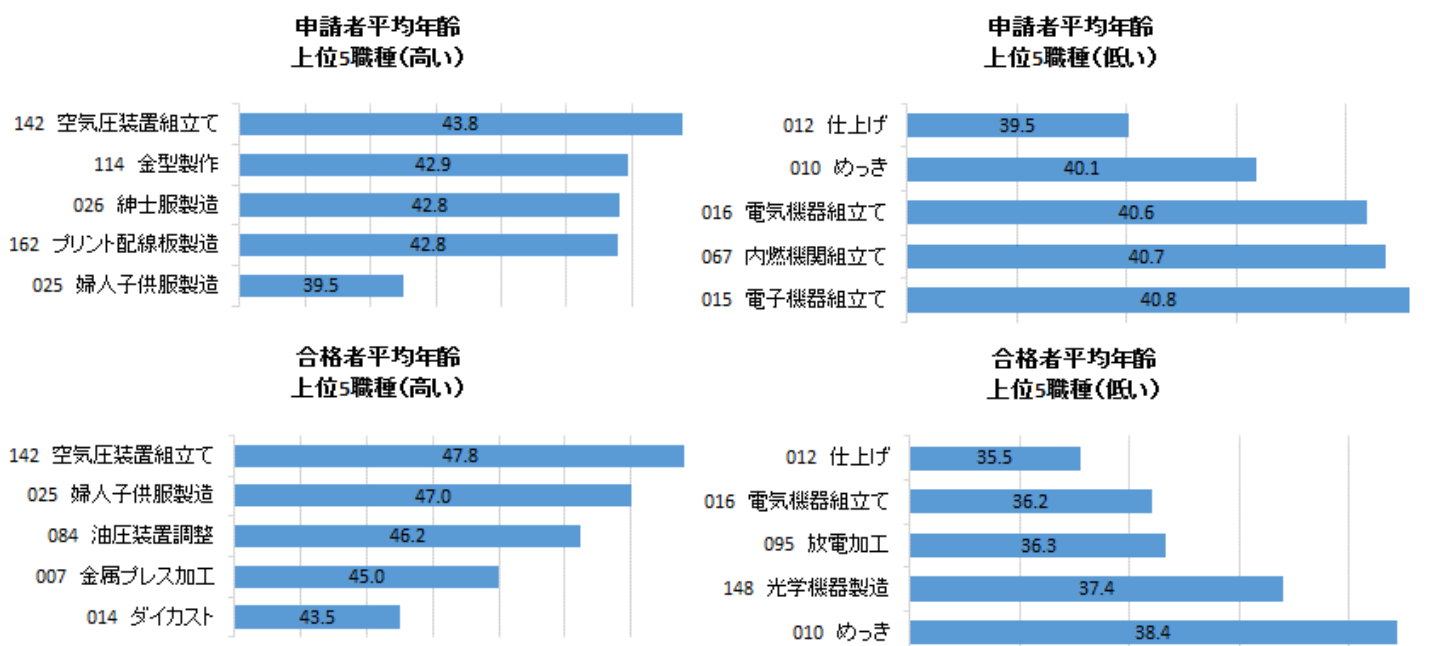
2. 申請者及び合格者の平均年齢

- * 受検申請者・合格者の平均年齢は、それぞれ 30.2 歳（昨年度 30.1 歳）、28.5 歳（昨年度 28.6 歳）であった。
- * 等級別にみると、受検申請者・合格者の平均年齢は、特級がそれぞれ 41.7 歳（昨年度 41.5 歳）、40.3 歳（昨年度 40.8 歳）と高く、3 級がそれぞれ 20.1 歳（昨年度 19.7 歳）、20.0 歳（昨年度 19.6 歳）と低くなっている。



(1) 特級

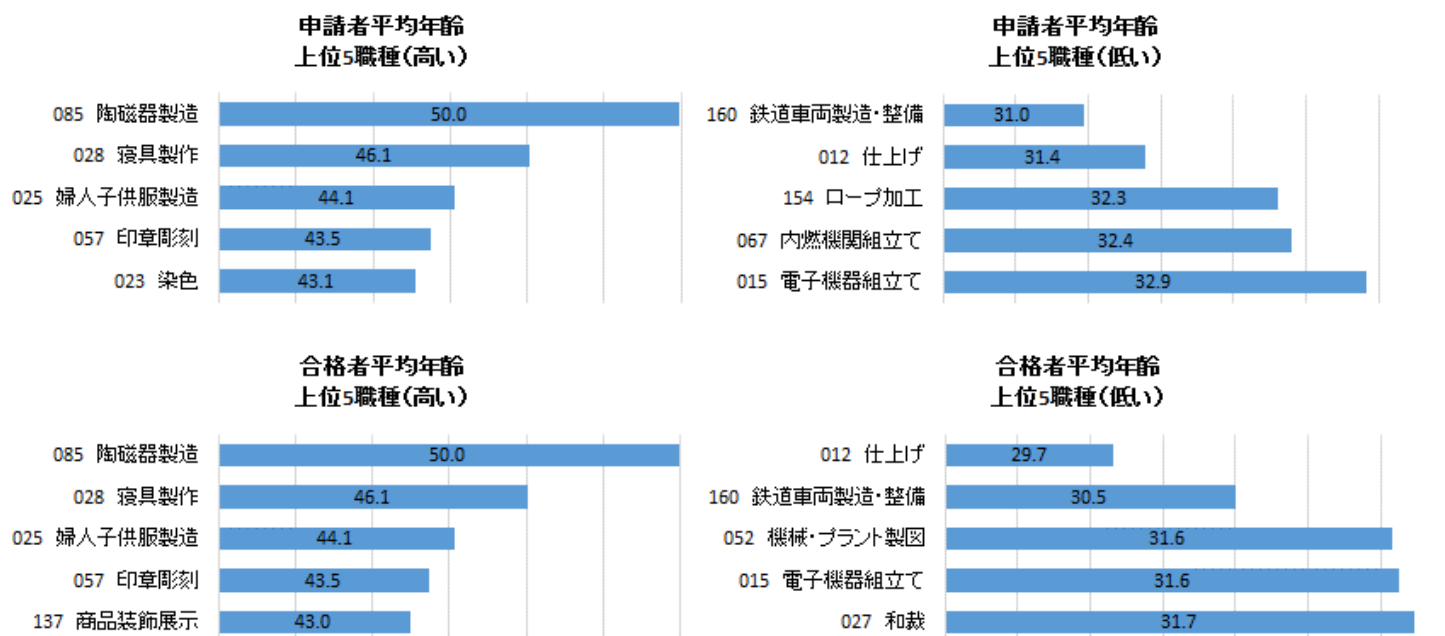
申請者の平均年齢では、空気圧装置組立ての 43.8 歳が最も高く、仕上げの 39.5 歳が最も低かった。
合格者の平均年齢では、空気圧装置組立ての 47.8 歳が最も高く、仕上げの 35.5 歳が最も低かった。



(2) 1級

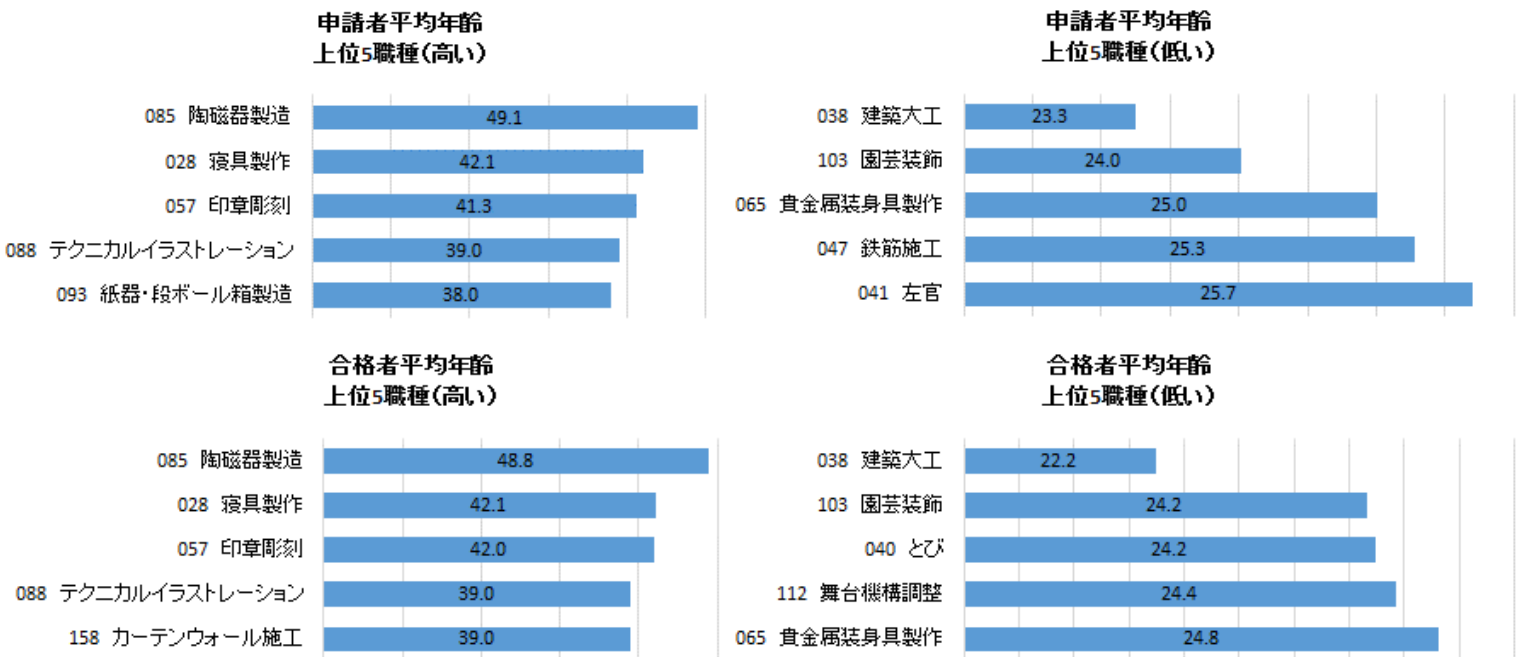
申請者の平均年齢では、陶磁器製造の 50.0 歳が最も高く、鉄道車両製造・整備の 31.0 歳が最も低かった。

合格者の平均年齢では、陶磁器製造の 50.0 歳が最も高く、仕上げの 29.7 歳が最も低かった。



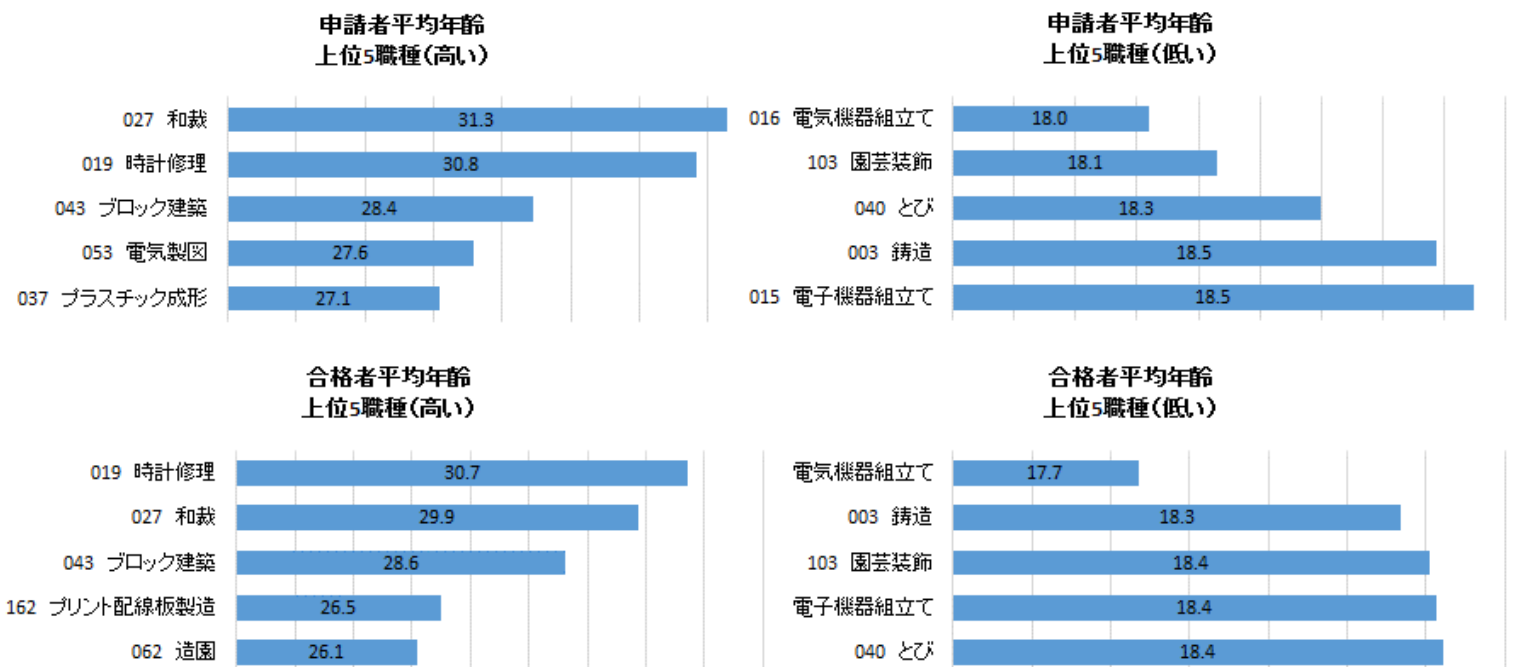
(3) 2級

申請者の平均年齢では、陶磁器製造の49.1歳が最も高く、建築大工の23.3歳が最も低かった。
 合格者の平均年齢では、陶磁器製造の48.8歳が最も高く、建築大工の22.2歳が最も低かった。



(4) 3級

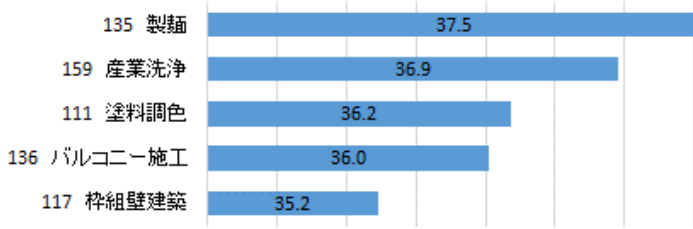
申請者の平均年齢では、和裁の31.3歳が最も高く、電気機器組立ての18.0歳が最も低かった。
 合格者の平均年齢では、時計修理の30.7歳が最も高く、電気機器組立ての17.7歳が最も低かった。



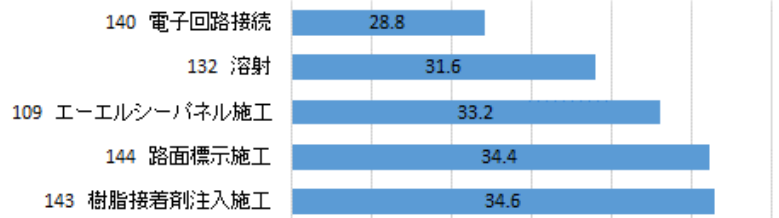
(5) 単一等級

申請者の平均年齢は、製麺の37.5歳が最も高く、電子回路接続の28.8歳が最も低かった。
合格者の平均年齢は、製麺の37.4歳が最も高く、電子回路接続の28.4歳が最も低かった。

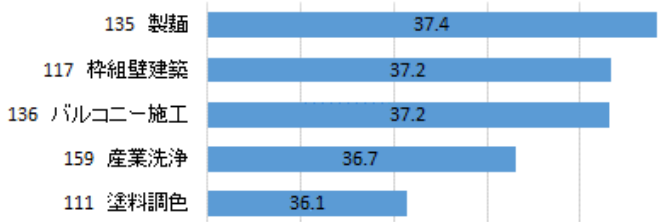
申請者平均年齢
上位5職種(高い)



申請者平均年齢
上位5職種(低い)



合格者平均年齢
上位5職種(高い)



合格者平均年齢
上位5職種(低い)

